

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 AI CROSS株式会社
 コード番号 4476 URL <https://aicross.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 典子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 菅野 智也 TEL 050-1745-3021
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	634	39.1	91	275.7	90	273.9	61	279.7
2020年12月期第1四半期	455	55.0	24	△49.0	24	△47.7	16	△48.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	15.54	15.02
2020年12月期第1四半期	4.15	3.98

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,575	1,245	79.0
2020年12月期	1,507	1,184	78.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,245百万円 2020年12月期 1,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,529	32.6	229	20.0	229	20.3	332	145.7	85.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	3,995,050株	2020年12月期	3,995,050株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	50,080株	2020年12月期	50,080株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	3,944,970株	2020年12月期 1 Q	3,893,493株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が制限されるなどの影響が依然として続いており、緊急事態宣言解除後も景気の先行きは不透明な状況が予想されております。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、リモートワークやクラウドサービスの導入を積極的に実施する企業が増えてきており、AIや5Gなどのデジタルトランスフォーメーションが加速し、IT投資への需要は高まっているものと認識しております。また、当社がターゲットとする働き方改革ICT市場におきましては、ソーシャルディスタンスをきっかけに時間と場所に柔軟性を持たせた働き方の多様性が更に求められており、テクノロジーを積極的に活用した業務効率化をはじめ、IT活用のメリットを多くの企業が再認識するとともに、今後益々の市場の拡大が期待されております。

このような事業環境の中、当社は、“Smart Work, Smart Life～テクノロジーでビジネススタイルをスマートに”のミッションのもと、AIでコミュニケーションの次元を高める会社として、メッセージングサービス「絶対リーチ!SMS」及びビジネスチャットサービス「InCircle」を展開し、HR関連サービスにおいては、AIデータ分析を人事領域に組み合わせ、人的資源の可視化・個人最適化による有効活用実現に向けて新規事業を推進してまいりました。

また、メッセージングサービス「絶対リーチ!SMS」においては、SMS配信先ユーザーに求めるリアクションの自動化や効率化を実現する「Smart X Chat (スマートクロスチャット)」をリリースし、5G時代の「+メッセージ」の普及を見据えたチャットボット機能の提供により、付加価値の高いコミュニケーションが図れるよう運営してまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、下表のとおりとなりました。

(単位：千円)

	2021年12月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	634,032	455,763	178,268	39.1
営業利益	91,619	24,386	67,232	275.7
経常利益	90,316	24,156	66,160	273.9
四半期純利益	61,333	16,154	45,179	279.7

当第1四半期累計期間においては、当社の主軸事業であるメッセージングサービスで、国内及び海外ともにサービス利用が伸長し、売上高に大きく寄与いたしました。

販売費及び一般管理費では、前第1四半期累計期間に先行投資として実施したタクシーCM広告費の発生があったことに対して、当第1四半期累計期間ではブランディング効果及びサービス認知度の向上により広告費が抑制できた結果、営業利益に貢献いたしました。

なお、当社はSmart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は1,575,996千円となり、前会計年度末に比べ68,278千円増加いたしました。これは主に、利益拡大に伴う現金及び預金の増加73,574千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は330,339千円となり、前会計年度末に比べ6,944千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加26,081千円、未払金の増加9,885千円、未払法人税等の減少9,418千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,245,657千円となり、前会計年度末に比べ61,333千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加61,333千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、デジタルトランスフォーメーションの後押しを受け、SMS市場の可能性は高まっております。経営資源の選択と集中により、メッセージングサービスの成長及びHR関連サービスの新規開発は、順調に推移しており、2021年3月31日に公表いたしました適時開示「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。なお、依然として新型コロナウイルス感染症の動向には注視してまいります。現時点において、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,262	1,129,836
売掛金	306,491	301,272
仕掛品	55	—
前払費用	24,603	28,936
その他	365	357
貸倒引当金	△773	△673
流動資産合計	1,387,005	1,459,730
固定資産		
有形固定資産	22,364	21,884
無形固定資産	47,306	40,305
投資その他の資産	51,041	54,077
固定資産合計	120,713	116,266
資産合計	1,507,718	1,575,996
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,877	196,959
1年内返済予定の長期借入金	18,396	18,396
未払金	20,625	30,510
未払費用	7,081	3,285
未払法人税等	41,633	32,214
前受金	13,634	10,835
預り金	2,050	3,773
その他	12,222	2,091
流動負債合計	286,521	298,065
固定負債		
長期借入金	36,873	32,274
固定負債合計	36,873	32,274
負債合計	323,394	330,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,161	470,161
資本剰余金	446,161	446,161
利益剰余金	268,533	329,867
自己株式	△640	△640
株主資本合計	1,184,216	1,245,550
新株予約権	107	107
純資産合計	1,184,323	1,245,657
負債純資産合計	1,507,718	1,575,996

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	455,763	634,032
売上原価	276,252	404,160
売上総利益	179,511	229,871
販売費及び一般管理費	155,124	138,252
営業利益	24,386	91,619
営業外収益		
受取利息	3	5
その他	0	—
営業外収益合計	4	5
営業外費用		
支払利息	—	71
為替差損	234	1,236
営業外費用合計	234	1,307
経常利益	24,156	90,316
税引前四半期純利益	24,156	90,316
法人税、住民税及び事業税	4,366	32,215
法人税等調整額	3,634	△3,232
法人税等合計	8,001	28,982
四半期純利益	16,154	61,333

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、Smart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

事業分離

当社は、2021年3月31日の取締役会において、2021年6月1日付で当社のビジネスチャット事業（以下「対象事業」）を、新設分割により新設会社（以下「本新設会社」）に承継させ、さらに、本新設会社の株式の全てをナレッジスイート株式会社に譲渡（以下株式譲渡と新設分割を総称して「本取引」）することを決議いたしました。

1. 事業分離の概要

(1) 会社分割による事業分離先企業の名称及び株式譲渡先企業の名称

- ① 会社分割による事業分離先企業の名称
株式会社DXクラウド
- ② 株式譲渡先企業の名称
ナレッジスイート株式会社

(2) 分離した事業の名称及びその事業の内容

- ① 事業の名称
ビジネスチャット事業
- ② 事業の内容
ビジネスチャットサービスの開発・提供

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は「Smart Work, Smart Life」の理念のもと、AIなど先進のテクノロジーや第5世代(5G)移動通信システムを活用して、企業のさらなる業務効率向上と、働く従業員の多様な働き方の革新を支援するテクノロジーカンパニーです。当該理念を達成するために顧客企業における生産性向上に資するSmart AI Engagement事業を行っており、「ビジネスチャットサービス」「メッセージングサービス」「HR関連サービス」の3サービスを展開してまいりました。

今回事業譲渡を決定した「ビジネスチャットサービス」は、当社の創業以来サービス展開しており、導入企業数は600社を超え、順調に推移しております。

しかしながら、この度のコロナ禍により、企業がDX化に迫られ、社会全体のDX化が急速に進んでいる状況においては、当社ビジネスはまたとないチャンスを迎えていると捉えており、今後の市場成長スピード、当社の市場におけるポジション等を鑑みの中で、よりポテンシャルの高いメッセージング領域・HR領域に経営資源を集中することでこのチャンスを逃さないことが、今後の事業成長・企業価値向上のためにベストの選択肢であると判断し、本取引を実施することといたしました。

(4) 会社分割日及び株式譲渡日

2021年6月1日(予定日)

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

- ① 会社分割
当社を分割会社とし、本新設会社に対して対象事業に関する権利・義務を承継させる新設分割(簡易分割)
- ② 株式譲渡
受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施する会計処理の概要

「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、会計処理を行う予定です。

3. 四半期累計期間に係る四半期損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高 60百万円
営業利益 7百万円